

2011年実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座 《講義録2限目》



投稿者:「防災塾・だるま」中村 俊光

- ◆開催月日:2011年10月6日(木)
- ◆開催時間:14:30~16:30
- ◆開催場所:KUポートスクエア 14F

《講座メインテーマ》東日本大震災から学ぶ防災(減災)まちづくり

◆本日のテーマ◆阪神淡路での行政経験者が現地を見て対比して語る

東日本大震災での復旧・復興への支援活動で、阪神淡路での経験が具体的にどう活かされ、そこからどんな課題を見たかを、阪神淡路の経験と対比して語る。

受講風景



《講師》松山省三氏

元神戸市職員
宮城県名取市で復興アドバイザーとして活動

◆東日本大震災のキーワード

①巨大(M9.0) ②広域(被害市町村数約300) ③複合災害(津波・原発含む) ④支援(物資・ボランティア等)

◆宮城県名取市の現状

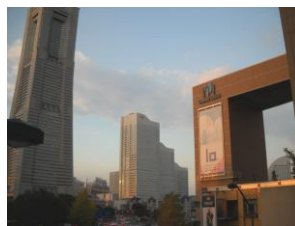
・人口約72,000人・平坦な地形・地震による直接被害は少ない・津波の高さ約9m、時速約50Kmで海岸から4~5Km内陸まで侵入・2Km圏内一帯で壊滅的被害(当時/死者882人・不明約1,000人)・避難所52箇所
・避難者数最大約11,000人・仮設住宅建設費500万/一戸・入居申込870所帯・災害弱者対策無し(手すり等)

◆防災への課題

・津波でんご・稲むらの火・津波を考慮したハザードマップ・仮設住宅ノウハウ(設置場所、避難者主導、弱者対策、集会所作り等)・被災からの自立・自助は最低3日間、孤立を考えて7~10日間の備えを!

※短い時間の中、身振り手振りで講演いただきました。松山さん有難うございました。

講座終了後の交流会風景



講座司会 小原 茂さん



◆講座終了後、受講生有志にて、交流会を開催。「防災塾・だるま」塾長の荏本教授の“乾杯”の発声に始まり、講座初受講生5名と本日の講師松山さんを含め、20名にて防災談義を楽しみました。次回の交流会も楽しみです。